

「地域づくり推進ビジョン」のフォローアップについて

資料 3 - 1

○釧路・根室連携地域 地域重点プロジェクト一覧表

項目	食・産業	観光・交流・文化	環境・エネルギー	社会基盤・暮らし	北方領土
めざす地域の姿	・基幹産業である農林水産業の持続的な成長 ・農林水産資源などを活かした地域産業の振興	・世界遺産や国立・国定公園などの地域資源を活かした交流・関係人口の創出・拡大	・豊かな自然環境を次世代に残す環境負荷を最小限に抑えた持続可能な社会の構築	・災害に強く安心して暮らせる心豊かなまちづくりの推進 ・暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成	・北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
該当する地域重点プロジェクト	◇食産業高付加価値化プロジェクト	◇世界水準の観光地形成プロジェクト	◇自然共生社会形成プロジェクト	◇災害に強い地域づくりプロジェクト	◇地域環境整備プロジェクト(再掲)
	◇広域交通ネットワーク形成プロジェクト	◇地域環境整備プロジェクト	○「ゼロカーボン北海道」への貢献プロジェクト	◇食産業高付加価値化プロジェクト(再掲)	○北方領土の早期返還と隣接地域の振興プロジェクト
	○農林水産業をはじめとした地域を支える産業の振興プロジェクト	◇広域交通ネットワーク形成プロジェクト(再掲)		◇広域交通ネットワーク形成プロジェクト(再掲)	
		○地域の強みを活かした交流・関係人口の創出・拡大プロジェクト		○農林水産業をはじめとした地域を支える産業の振興プロジェクト(再掲)	
				○地域の強みを活かした交流・関係人口の創出・拡大プロジェクト(再掲)	
				○安全・安心で心豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト	

<凡例> ◇:国主体のプロジェクト、○:北海道主体のプロジェクト

釧路・根室連携地域「地域づくり推進ビジョン」

地域重点プロジェクト

このプロジェクトは、北海道総合開発計画（国）及び北海道総合計画（道）に基づいた施策を展開するための「主な取組」を記載していますが、その推進に当たっては、国、道、市町村、民間、関係団体等の多様な主体が連携し、役割分担のもと、進めていくものです。

[食・産業関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

○ 基幹産業である農林水産業の持続的な成長

- ・安全・安心かつ良質な農林水産物の安定供給に向けた体質強化
- ・担い手の育成・確保に向けた取組の促進やICTなどの新たな技術の導入推進による生産力の向上

○ 農林水産資源などを活かした地域産業の振興

- ・豊富で良質な農林水産資源などを活かした食関連事業者の支援など食のブランド化に向けた取組の展開
- ・農林水産物を活用した6次産業化や商品の高付加価値化、販路拡大への支援
- ・エゾシカ生息数の適正管理及び捕獲個体の有効利用
- ・地域の経済・雇用を支える中小・小規模企業の振興

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	食産業高付加価値化プロジェクト （今後とも進展が予想される人口減少、少子高齢化に伴う担い手不足に対応するためには、農業・水産業における生産性の向上や作業の効率化、担い手の育成・確保を図る必要があります。また、恵まれた自然環境を背景に、地域の特長でもある安全・安心な「食」の生産をさらに推進し、自然環境と調和した持続可能な産業構造や多用な輸送モ）	○ 効率的な食産業構造の構築 ・農業用排水路及び農地を保全整備し、農地等の機能回復による農作業の効率化と収量の増加 ・家畜ふん尿の効率的で適正な農地還元と排水性の改良による生産性の向上と農作業の効率化 ・ほ場の大区画化と排水改善（乾畑化）による、生産性の向上と農作業の効率化 ・漁港での屋根付き岸壁等の整備による就労環境の改善	いずれも 国、道、市町村、 民間、関係団体	（国 H28完了） ・根室港花咲地区道路の整備 （国 H30完了） ・釧路港国際物流ターミナル整備事業 （国 H31完了） ・釧路外環状道路の整備 ・上別保道路の整備 （国 R1完了） ・根室道路の整備

	ードを活用した効率的な輸送体系の構築によって、最終的には食の高付加価値化・ブランド化の推進につなげる必要があります。 ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 農水産物・食品の安全性向上やブランド化 ・家畜ふん尿を資源として適切に農地に還元するなど、環境に配慮した資源循環型農業の実現 ・農業用排水路の水質改善など、環境負荷物質の軽減を図る環境保全型農業の推進 ・漁港での屋根付き岸壁や低温清浄海水取水設備の整備による衛生管理型の漁業の推進 ・「道の駅」、「みなとオアシス」、「マリンビジョン」、「『わが村は美しくー北海道』運動」など、地域と行政が連携した魅力ある地域づくりや農水産業の発展を核とした地域振興の推進 ○ 産業を支える物流機能の充実 ・幹線道路網の整備による物流の拠点箇所へのアクセス時間の改善 ・輸送時間を短縮し、天候に左右されにくい安定的な陸上物流機能の充実 ・大型船舶に対応した港湾施設を整備し、海上物流の効率化 ・港内静穏度の確保など、効率的かつ安全な港湾利用の実現 ・漁獲から運送・加工に至るまでの衛生管理の徹底	いずれも 国、道、市町村、 民間、関係団体 国、道、市町村 国、道、市町村、 民間、関係団体 国、道、市町村 国、道、市町村 国、道、市町村、 民間、関係団体	(国 R 2 完了) ・美留和地区の農業基盤整備 ・別海西部地区の農業基盤整備 (国 R 4 完了) ・標津防災の整備 ・霧多布港の整備 (国 R 6 施行) ・北海道横断自動車道の整備 ・釧路新道の整備 ・尾幌糸魚沢道路の整備 ・根室防雪の整備 ・上春別防雪の整備 ・釧路港の整備 ・根室港の整備 ・厚岸漁港の整備 ・落石漁港の整備 ・歯舞漁港の整備 ・羅臼漁港の整備 ・阿寒地区の農業基盤整備 ・別海北部地区の農業基盤整備 ・根室地区の農業基盤整備 (道 H 2 8 完了) ・別海道路の整備 (道 R 1 完了) ・落石東漁場の整備 (道 R 2 完了) ・昆布森漁港の整備 ・厚岸大黒漁場の整備 ・釧路浜中漁場の整備 (道 R 3 完了)
--	---	---	---	---

				・根室太平洋漁場の整備 ・落石沖漁場の整備 ・釧路昆布森漁場の整備 ・白糠東部漁場の整備 ・釧路白糠漁場の整備 (道 R 6 施行) ・尾岱沼漁港の整備 ・散布漁港の整備 ・桂恋漁港の整備 ・標津漁港の整備 ・白糠漁港の整備 ・羅臼漁場の整備 ・落石沖合漁場の整備 ・羅臼沖合漁場の整備 ・花咲沖合漁場の整備 ・浦雲泊漁場の整備 ・昆布森沖合漁場の整備 ・床潭漁場の整備 ・貫人漁場の整備 ・火散布漁場の整備 ・根室中標津道路の整備 ・釧路空港 IC (仮称) の整備
--	--	--	--	--

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	広域交通ネットワーク形成プロジェクト （農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備を推進します。 また、国際バルク戦略港湾を始め、海上輸送網の拠点となる港湾の機能強化やＲＯＲＯ船等に対応した複合一貫輸送機能の維持・強化を推進します。） ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 交通・物流ネットワークの強化 ・高規格道路を始めとする基幹的ネットワークの整備 ・内外との人流・物流基盤である港湾・空港機能の強化 ○ 利便性を確保するためのアクセス機能の向上 ・釧路都市圏における交通渋滞の解消 ・地域間連携による医療・福祉機能の確保を支える速達性・確実性の高い道路交通の確保 ・危険性が高い区間の交通事故の減少	国、道、市町村 国、道、市町村 国、道、市町村 国、道、市町村 国、道、市町村、 民間、関係団体	（国　Ｈ２８完了） ・根室港咲咲地区道路の整備（国　Ｈ３０完了） ・釧路港国際物流ターミナル整備事業（国　Ｈ３１完了） ・釧路外環状道路の整備 ・上別保道路の整備（国　Ｒ１完了） ・根室道路の整備（国　Ｒ４完了） ・釧路空港の整備 （国　Ｒ６施行） ・北海道横断自動車道の整備 ・釧路新道の整備 ・尾幌糸魚沢道路の整備 ・釧路港の整備 （道　Ｈ２８完了） ・別海道路の整備 （道　Ｈ２９完了） ・中標津空港の機能強化 （道　Ｒ６施行） ・根室中標津道路の整備 ・中標津空港の機能強化 ・釧路空港 IC（仮称）の整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	農林水産業をはじめとした地域を支える産業の振興プロジェクト 安全・安心で良質な農林水産物の安定供給に向けた農林水産業の持続的成長と良質な農林水産資源などを活かした地域産業の振興を図り、人の呼び込みや定着を促すため、生産力の強化や担い手の育成・確保、高付加価値化や販路拡大、創業促進などの取組を進めます。 ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 農林水産業の生産力強化 ・草地の適正管理や草地整備改良事業の計画的な実施など草型酪農の推進 ・営農支援組織の育成・強化やスマート農業技術の導入、和牛の生産拡大など安定した農業経営の確立 ・公共建築物をはじめ各種建築物などにおける道産木材の需要拡大 ・産地市場の衛生管理の強化と衛生管理に配慮した施設整備等の推進 ・海洋環境や資源状態などに応じたつくり育てる漁業の展開 ・T A C制度の効果的運用と漁業特性にあった資源管理技術の導入 ・I C Tを活用した漁場管理や生産技術の開発 ・エゾシカの適正管理及び農林業等被害の軽減に向けた取組の推進 ・ヒグマによる森林施業等での人身被害の防止や農業・漁業被害の軽減に向けた取組等の推進 ○ 地場産品の高付加価値化や国内外への販路拡大の推進 ・良質な地域資源である1次産品を活かした商品の開発や6次産業化の推進 ・食関連事業者の課題に対応した支援や新たなプロモーションの展開など食のブランド化の推進 ・農林業被害等の軽減のために捕獲したエゾシカの食肉としての有効活用と高付加価値化に向けた取組の促進	国、道、市町村、民間、関係団体、試験研究機関、金融機関	○農産物の安定生産の基盤となる草地や畑地、農業用施設や農道の整備推進 ○農林水産業の経営体の育成や体質強化を図るための施設の整備 ○水産資源増大等に向けた増養殖施設の整備 ○水産物の品質管理を高度化する施設の整備 ○水産物供給基地としての漁港、漁場の整備促進 ○国際的な海上輸送拠点の整備 ○地方空港の機能向上に向けた施設の整備 ○物流ネットワーク形成のための高規格道路や道路網の整備

		○ 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進 ・北海道小規模企業振興条例をはじめ産業振興に関する各種条例に基づく創業の促進など中小・小規模企業の振興及び地元商店街のにぎわい形成に向けた取組の推進 ・市町村や関係団体と連携した農林水産業の担い手の育成・確保 ・農村コミュニティの維持に向けた農業経営体の円滑な継承に関する取組の推進 ・若年者の地元中小企業への就職や職場定着に向けた支援の推進		
--	--	---	--	--

地域重点プロジェクト

[観光・交流・文化関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

○ 世界遺産や国立・国定公園などの地域資源を活かした交流・関係人口の創出・拡大

- ・ 自然、食・温泉・アイヌ文化など、地域が有する観光資源の連結・融合やシーニックバイウェイ、日本遺産などの広域的な取組を活かした着地型・滞在型の観光地づくりの推進
- ・ A T W S を契機としたアドベンチャーツーリズムの推進と外国人観光客受入体制の整備
- ・ 北海道横断自動車道の延伸や新たな航空路線の就航を踏まえた広域観光の推進
- ・ 冷涼、少雪好天な気候特性を活かした長期滞在やワーケーション、移住・定住の推進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	世界水準の観光地形成プロジェクト （北海道の雄大な景観の中での移動そのものも楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム等の振興、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地のネットワーク化、複数空港の一体的な運営の推進等により、広域的な観光周遊ルートの形成を促進します。 また、地域と行政が連携し、地域資源を活用した地域づくり等の担い手の発掘・育成を促進します。）	○ 周遊観光を促進するための取組支援 ・ 広域に点在する観光資源の連携を支える交通網の構築 ・ 港湾・空港などのアクセス向上による観光拠点づくり ・ クルージングなど新たな観光ニーズへの対応 ・ 美しい自然景観や活力ある生産風景などの魅力を引き出す施設整備 ・ 「かわたび北海道」、「道の駅」、「シーニックバイウェイ」、「サイクルツーリズム」、「みなとオアシス」、「『わが村は美しくー北海道』運動」など地域と行政が連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの推進	いずれも 国、道、市町村、 民間、関係団体	（国 H 3 1 完了） ・ 釧路外環状道路の整備 ・ 上別保道路の整備 （国 R 1 完了） ・ 根室道路の整備 （国 R 4 完了） ・ 標津防災の整備 ・ 釧路空港の整備 （国 R 6 施行） ・ 釧路湿原の自然再生 ・ 釧路川（弟子屈地区）の整備 ・ 北海道横断自動車道の整備 ・ 釧路新道の整備

	■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ サービス、情報提供の高質化 ・外国人観光客などが個人でも円滑に移動できるよう情報提供の高度化 ・新たな観光サービスの創出環境の整備 ・交通結節点など観光拠点となる施設の安全性や利便性向上	いずれも 国、道、市町村、 民間、関係団体	・尾幌系魚沢道路の整備 ・根室防雪の整備 ・上春別防雪の整備 (道 H 2 8 完了) ・別海道路の整備 (道 H 2 9 完了) ・中標津空港の機能強化 (道 R 6 施行) ・根室中標津道路の整備 ・中標津空港の機能強化 ・釧路空港 IC（仮称）の整備
--	-----------------------------	--	--------------------------------------	---

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	地域環境整備プロジェクト 魅力ある地域づくりを実現させるためには、安心して暮らせる住環境と必要な利便性を確保した上で、豊かな自然環境をこれからも享受できるような地域である必要があります。 北方領土返還要求運動の拠点である北方領土隣接地域では、地域活力の低下が見られることから、この地域での活力維持発展を図るため、重点的・効率的な安定振興策を推進します。 また、北海道の先住民族であるアイヌの人々の生活環境等の向上を図るため、道路網等の環境整備を促進します。	○ 北方領土隣接地域における地域整備の推進 ・ 隣接地域の振興と安定した魅力ある地域社会の形成を図るための農水産物の高付加価値化、周遊観光の構築、四島交流拠点の整備、地域医療の支援、地震・津波・洪水・高潮対策等、ハード・ソフト一体となった取組の重点化 ・ 流域治水プロジェクトの推進	国、道、市町村、民間、関係団体 国、道、市町村、民間、関係団体 国、道、市町村、民間、関係団体	(国 H28完了) ・ 根室港花咲地区道路の整備 (国 R1完了) ・ 根室道路の整備 (国 R2完了) ・ 別海西部地区の農業基盤整備 (国 R4完了) ・ 標津防災の整備 (国 R6施行) ・ 釧路湿原の自然再生 ・ 釧路川(弟子屈地区)の整備 ・ 北海道横断自動車道の整備 ・ 根室防雪の整備 ・ 上春別防雪の整備 ・ 根室港の整備 ・ 落石漁港の整備 ・ 歯舞漁港の整備 ・ 羅臼漁港の整備 ・ 別海北部地区の農業基盤整備 ・ 根室地区の農業基盤整備 (道 H28完了) ・ 別海道路の整備 (道 H29完了) ・ 中標津空港の機能強化 (道 R6施行) ・ 根室中標津道路の整備
		○ アイヌ文化の振興支援 ・ 地域資源であるアイヌ文化を活かした広域観光のための環境整備の促進		

■推進エリア
釧路・根室連携地域

				・ 中標津空港の機能強化
--	--	--	--	--------------

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	広域交通ネットワーク形成プロジェクト（再掲） （農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備を推進します。 また、国際バルク戦略港湾を始め、海上輸送網の拠点となる港湾の機能強化やＲＯＲＯ船等に対応した複合一貫輸送機能の維持・強化を推進します。） ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 交通・物流ネットワークの強化 ・高規格道路を始めとする基幹的ネットワークの整備 ・内外との人流・物流基盤である港湾・空港機能の強化	国、道、市町村 国、道、市町村	（国 Ｈ２８完了） ・根室港花咲地区道路の整備 （国 Ｈ３０完了） ・釧路港国際物流ターミナル整備事業 （国 Ｈ３１完了） ・釧路外環状道路の整備 ・上別保道路の整備 （国 Ｒ１完了） ・根室道路の整備 （国 Ｒ４完了） ・釧路空港の整備 （国 Ｒ６施行） ・北海道横断自動車道の整備 ・釧路新道の整備 ・尾幌糸魚沢道路の整備 ・釧路港の整備
		○ 利便性を確保するためのアクセス機能の向上 ・釧路都市圏における交通渋滞の解消 ・地域間連携による医療・福祉機能の確保を支える速達性・確実性の高い道路交通の確保 ・危険性が高い区間の交通事故の減少	国、道、市町村 国、道、市町村 国、道、市町村、 民間、関係団体	（道 Ｈ２８完了） ・別海道路の整備 （道 Ｈ２９完了） ・中標津空港の機能強化 （道 Ｒ６施行） ・根室中標津道路の整備 ・中標津空港の機能強化 ・釧路空港 IC（仮称）の整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	地域の強みを活かした交流・関係人口の創出・拡大プロジェクト （ 知床世界自然遺産や国立・国定公園、アイヌ文化などの地域の強みを活かした体験型・滞在型観光や広域観光の推進、若年層を中心とした地方移住への関心の高まりを踏まえた地域の魅力や優位性の発信、また、新しい働き方として注目されているワーケーションの推進などにより、地域内外からの人の流れをつくるとともに、地域の魅力を高め連携を図りながら、交流人口や関係人口の創出と拡大を図ることで地域の活力を生み出します。 ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 地域の強みを活かした体験型・滞在型観光や広域観光の推進 ・新たな体験型観光の発掘に向けた検討や地域資源を活かした滞在型観光地づくり ・バードウォッチングやトレッキング等の地域の特色を活かしたエコツーリズムの推進 ・自然公園の魅力発信の多言語化やネイチャーガイドの養成など国内外観光客の受入体制の充実 ・A T W S を契機とした国内外からの誘客促進 ・広域周遊観光促進事業やシーニックバイウェイと連携した広域観光周遊ルートの形成など「ひがし北海道」としての一体的な観光の推進 ・日本遺産の普及・活用を通じた広域観光の推進 ・北海道横断自動車道（道東道）の延伸を契機とした官民連携による地域の魅力発信 ・道外自治体と連携した観光情報等の発信 ・観光振興など市町村が連携して取り組む「地域づくり広域プロジェクト」の推進 ・アイヌの歴史、伝統文化等の継承・情報発信 ○ 地域一体となった移住・定住やワーケーションの推進 ・移住・定住対策に関する関係機関での情報・課題の共有と連携による受入体制づくり ・移住希望者や地域に興味がある方とのつながりの構築と関係情報の発信 ・ちょっと暮らしやワーケーションなど移住や関係人口の取組の推進 ・移住者など地域で活躍する人を結びつけるプラットフォームづくり ・若年層の地元定着に向けたふるさととの誇りと愛着を育む取組の推進	国、道、市町村、民間、関係団体	○地域の資源を活かした多彩なツーリズムを促進する施設の整備 ・農村ツーリズムなどに資する農山漁村と都市との交流を促進する施設の整備 ・フットパスやサイクリングに資する施設の整備 ○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・空港・港湾の整備促進 ・観光拠点へのアクセス道路や休憩施設の整備 ・外国語標記の案内板などの整備 ○自然体験型観光のための施設の整備 ・野外活動体験施設の整備促進 ・海洋レクリエーション施設の整備 ○高規格道路の整備 ○冬期における安全で快適な道路交通の確保

地域重点プロジェクト

[環境・エネルギー関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

○ 豊かな自然環境を次世代に残す環境負荷を最小限に抑えた持続可能な社会の構築

- ・ 知床世界自然遺産や国立・国定公園など特色ある豊かな自然環境の保全と利用の促進
- ・ 地域の特性を活かしたバイオマス、太陽光、地熱など再生可能エネルギーの導入促進とエネルギーの地産地消の推進
- ・ 国内唯一の坑内掘炭鉱の保安の確保とＣＯ２坑内埋め戻し技術の確立、その活用による産炭国への炭鉱技術の移転
- ・ 森林資源の循環利用及び木育の推進

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	自然共生社会形成プロジェクト （多自然川づくり、良好な都市環境を提供する公園緑地の整備を始め、社会資本整備や土地利用において、生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成など、自然環境が有する多様な機能を積極的に活用するグリーンインフラの取組を推進します。 また、管内には再生可能エネルギー源が豊富に賦存しており、今後はこうした地域に根ざしたエネルギー開発や関連する産業の育成を推進します。）	○ 豊かな自然を享受できる地域づくり ・ 湿原環境、河川環境の回復 ・ 水生生物の生息環境の保全と創造 ・ 野生動物に配慮した道路の整備 ・ 資源循環や環境保全に配慮した農業の推進 ・ 再生可能エネルギーの開発・普及・利活用の支援	いずれも 国、道、市町村、 民間、関係団体	（国 H 3 1 完了） ・ 釧路外環状道路の整備 （国 R 1 完了） ・ 根室道路の整備 （国 R 2 完了） ・ 別海西部地区の農業基盤整備 （国 R 4 完了） ・ 標津防災の整備 （国 R 6 施行） ・ 釧路湿原の自然再生 ・ 釧路川（弟子屈地区）の整備 ・ 北海道横断自動車道の整備

	■推進エリア 釧路・根室連携地域			・釧路新道の整備 ・尾幌糸魚沢道路の整備 ・根室防雪の整備 ・釧路港の整備 ・別海北部地区の農業基盤整備 ・根室地区の農業基盤整備 (道 R 2 完了) ・風蓮湖公園線の整備 (道 R 6 施行) ・釧路湿原の自然再生
--	-----------------------------	--	--	--

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	「ゼロカーボン北海道」への貢献プロジェクト （地域の財産である豊かな自然環境を将来に残し未来の子どもたちへ引き継ぐため、森林をはじめとする自然環境の保全や、地域に賦存するエネルギー資源の利活用、二酸化炭素の吸収源である森林の適切な整備や森林資源の循環利用などを推進し、温室効果ガスの排出量の実質ゼロをめざす「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献します。） ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 社会システムの脱炭素化と再生可能エネルギーの最大限の活用 ・管内市町村へのゼロカーボンシティの表明推進 ・廃棄物の減量化、再生資源及びプラスチック資源の循環的な利用に対する道民理解の促進 ・国内唯一の坑内掘炭鉱の保安の確保とCO₂坑内埋め戻し技術の確立、その活用による産炭国への炭鉱技術の移転 ・地域の特性を活かしたバイオマスや太陽光、地熱など再生可能エネルギーの導入促進とエネルギーの地産地消の推進 ○ 森林等の二酸化炭素吸収源の確保と自然環境の保全 ・植栽や間伐などの森林整備と地材地消による森林資源の循環利用の促進 ・木質バイオマス利用など林地未利用材の活用促進 ・多様な主体による植樹活動など木育を通じた森林づくりや木材利用の道民理解の促進 ・国、市町村、関係団体と連携した世界自然遺産地域や国立公園などの自然公園の環境保全対策の推進 ・地域の自然環境情報及び自然保護ルールの国内外への発信 ・自然公園内の適切な維持管理やW i - F i、外国語表示版整備などの施設・設備の充実 ・地域の自主的な環境保全行動を推進する「自然の番人宣言」の取組の支援	国、道、市町村、民間、関係団体	○自然豊かな水辺環境の整備 ・保全 ・釧路湿原における自然再生の促進 ・環境に配慮した河川などの整備 ○間伐や主伐後の再生林と林内路網の整備 ○国立・国定及び道立自然公園など自然公園施設の整備促進

地域重点プロジェクト

[社会基盤・暮らし関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

○ 災害に強く安心して暮らせる心豊かなまちづくりの推進

- ・地震や津波、火山、大雨などに対する防災体制及び施設の充実・強化
- ・森林保全や山地災害防止等のための地域環境に配慮した治山事業の推進
- ・地域医療と保健・福祉の充実、妊娠・出産、子育てなど各ライフ・ステージにおける支援の推進
- ・若者、女性、高齢者・障がい者など誰もが暮らしやすい地域づくりの推進

○ 暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成

- ・鉄道やバス、高規格道路や国際物流ターミナルなど、地域の生活と産業を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実、高度情報通信網の整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	災害に強い地域づくりプロジェクト （平成 28 年 8 月に台風が相次いで北海道に上陸・接近し、道内各地の河川、道路、農業用施設等に甚大な被害がもたらされました。今後も気候変動により、災害が更に頻発、激甚化することが懸念されており、多様な主体との連携によりハード対策とソフト対策を効果的に組み合わせ、効率的な防災・減災対策を進めます。） ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ いのち・地域をつなぐ基盤整備 ・広域連携を可能とする緊急輸送ルートの確保 ・各交通手段における代替機能確保による多重化 ・インフラの老朽化対策	いずれも 国、道、市町村	（国 R 1 完了） ・根室道路の整備 （国 R 4 完了） ・標津防災の整備 ・霧多布港の整備 ・釧路空港の整備 （国 R 5 完了） ・釧路末広町電線共同溝の整備 （国 R 6 施行） ・釧路川（弟子屈地区）の整備 ・釧路川（標茶地区）の整備

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	食産業高付加価値化プロジェクト（再掲） （今後とも進展が予想される人口減少、少子高齢化に伴う担い手不足に対応するためには、農業・水産業における生産性の向上や作業の効率化、担い手の育成・確保を図る必要があります。また、恵まれた自然環境を背景に、地域の特長でもある安全・安心な「食」の生産をさらに推進し、自然環境と調和した持続可能な産業構造や多様な輸送モードを活用した効率的な輸送体系の構築によって、最終的には食の高付加価値化・ブランド化の推進につなげる必要があります。） ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 効率的な食産業構造の構築 ・農業用排水路及び農地を保全整備し、農地等の機能回復による農作業の効率化と収量の増加 ・家畜ふん尿の効率的で適正な農地還元と排水性の改良による生産性の向上と農作業の効率化 ・ほ場の大区画化と排水改善（乾畑化）による、生産性の向上と農作業の効率化 ・漁港での屋根付き岸壁等の整備による就労環境の改善 ○ 農水産物・食品の安全性向上やブランド化 ・家畜ふん尿を資源として適切に農地に還元するなど、環境に配慮した資源循環型農業の実現 ・農業用排水路の水質改善など、環境負荷物質の軽減を図る環境保全型農業の推進 ・漁港での屋根付き岸壁や低温清浄海水取水設備の整備による衛生管理型の漁業の推進 ・「道の駅」、「みなとオアシス」、「マリンビジョン」、「『わが村は美しくー北海道』運動」など、地域と行政が連携した魅力ある地域づくりや農水産業の発展を核とした地域振興の推進 ○ 産業を支える物流機能の充実 ・幹線道路網の整備による物流の拠点箇所へのアクセス時間の改善 ・輸送時間を短縮し、天候に左右されにくい安定的な陸上物流機能の充実 ・大型船舶に対応した港湾施設を整備し、海上物流の効率化 ・港内静穏度の確保など、効率的かつ安全な港湾利用の実現 ・漁獲から運送・加工に至るまでの衛生管理の徹底	いずれも 国、道、市町村、 民間、関係団体 いずれも 国、道、市町村、 民間、関係団体 国、道、市町村 国、道、市町村、 民間、関係団体 国、道、市町村 国、道、市町村、 民間、関係団体	（国 H28完了） ・根室港花咲地区道路の整備（国 H30完了） ・釧路港国際物流ターミナル整備事業（国 H31完了） ・釧路外環状道路の整備 ・上別保道路の整備（国 R1完了） ・根室道路の整備（国 R2完了） ・美留和地区の農業基盤整備 ・別海西部地区の農業基盤整備（国 R4完了） ・標津防災の整備 ・霧多布港の整備 （国 R6施行） ・北海道横断自動車道の整備 ・釧路新道の整備 ・尾幌糸魚沢道路の整備 ・根室防雪の整備 ・上春別防雪の整備 ・釧路港の整備 ・根室港の整備 ・厚岸漁港の整備 ・落石漁港の整備 ・歯舞漁港の整備 ・羅臼漁港の整備 ・阿寒地区の農業基盤整備 ・別海北部地区の農業基盤整備 ・根室地区の農業基盤整備

				(道 H 2 8 完了) ・別海道路の整備 (道 R 1 完了) ・落石東漁場の整備 (道 R 2 完了) ・昆布森漁港の整備 ・厚岸大黒漁場の整備 ・釧路浜中漁場の整備 (道 R 3 完了) ・根室太平洋漁場の整備 ・落石沖漁場の整備 ・釧路昆布森漁場の整備 ・白糠東部漁場の整備 ・釧路白糠漁場の整備 (道 R 6 施行) ・尾岱沼漁港の整備 ・散布漁港の整備 ・桂恋漁港の整備 ・標津漁港の整備 ・白糠漁港の整備 ・羅臼漁場の整備 ・浦雲泊漁場の整備 ・昆布森沖合漁場の整備 ・床潭漁場の整備 ・貫人漁場の整備 ・火散布漁場の整備 ・根室中標津道路の整備 ・釧路空港 IC (仮称) の整備
--	--	--	--	---

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	広域交通ネットワーク形成プロジェクト（再掲） 農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備を推進します。 また、国際バルク戦略港湾を始め、海上輸送網の拠点となる港湾の機能強化やＲＯＲＯ船等に対応した複合一貫輸送機能の維持・強化を推進します。	○ 交通・物流ネットワークの強化 ・ 高規格道路を始めとする基幹的ネットワークの整備 ・ 内外との人流・物流基盤である港湾・空港機能の強化	国、道、市町村 国、道、市町村	（国　Ｈ２８完了） ・ 根室港咲咲地区道路の整備 （国　Ｈ３０完了） ・ 釧路港国際物流ターミナル整備事業 （国　Ｈ３１完了） ・ 釧路外環状道路の整備 ・ 上別保道路の整備 （国　Ｒ１完了） ・ 根室道路の整備 （国　Ｒ４完了） ・ 釧路空港の整備 （国　Ｒ６施行） ・ 北海道横断自動車道の整備 ・ 釧路新道の整備 ・ 尾幌糸魚沢道路の整備 ・ 釧路港の整備
		○ 利便性を確保するためのアクセス機能の向上 ・ 釧路都市圏における交通渋滞の解消 ・ 地域間連携による医療・福祉機能の確保を支える速達性・確実性の高い道路交通の確保 ・ 危険性が高い区間の交通事故の減少	国、道、市町村 国、道、市町村 国、道、市町村、民間、関係団体	（道　Ｈ２８完了） ・ 別海道路の整備 （道　Ｈ２９完了） ・ 中標津空港の機能強化 （道　Ｒ６施行） ・ 根室中標津道路の整備 ・ 中標津空港の機能強化 ・ 釧路空港 IC（仮称）の整備

■推進エリア
釧路・根室連携地域

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	農林水産業をはじめとした地域を支える産業の振興プロジェクト（再掲） 安全・安心で良質な農林水産物の安定供給に向けた農林水産業の持続的成長と良質な農林水産資源などを活かした地域産業の振興を図り、人の呼び込みや定着を促すため、生産力の強化や担い手の育成・確保、高付加価値化や販路拡大、創業促進などの取組を進めます。 ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 農林水産業の生産力強化 ・草地の適正管理や草地整備改良事業の計画的な実施など草地型酪農の推進 ・営農支援組織の育成・強化やスマート農業技術の導入、和牛の生産拡大など安定した農業経営の確立 ・公共建築物をはじめ各種建築物などにおける道産木材の需要拡大 ・産地市場の衛生管理の強化と衛生管理に配慮した施設整備等の推進 ・海洋環境や資源状態などに応じたつくり育てる漁業の展開 ・T A C制度の効果的運用と漁業特性にあった資源管理技術の導入 ・I C Tを活用した漁場管理や生産技術の開発 ・エゾシカの適正管理及び農林業等被害の軽減に向けた取組の推進 ・ヒグマによる森林施業等での人身被害の防止や農業・漁業被害の軽減に向けた取組等の推進 ○ 地場産品の高付加価値化や国内外への販路拡大の推進 ・良質な地域資源である1次産品を活かした商品の開発や6次産業化の推進 ・食関連事業者の課題に対応した支援や新たなプロモーションの展開など食のブランド化の推進 ・農林業被害等の軽減のために捕獲したエゾシカの食肉としての有効活用と高付加価値化に向けた取組の促進	国、道、市町村、民間、関係団体、試験研究機関、金融機関	○農産物の安定生産の基盤となる草地や畑地、農業用施設や農道の整備推進 ○農林水産業の経営体の育成や体質強化を図るための施設の整備 ○水産資源増大等に向けた増養殖施設の整備 ○水産物の品質管理を高度化する施設の整備 ○水産物供給基地としての漁港、漁場の整備促進 ○国際的な海上輸送拠点の整備 ○地方空港の機能向上に向けた施設の整備 ○物流ネットワーク形成のための高規格道路や道路網の整備

		○ 地域の産業を支える企業の振興や担い手対策の推進 ・北海道小規模企業振興条例をはじめ産業振興に関する各種条例に基づく創業の促進など中小・小規模企業の振興及び地元商店街のにぎわい形成に向けた取組の推進 ・市町村や関係団体と連携した農林水産業の担い手の育成・確保 ・農村コミュニティの維持に向けた農業経営体の円滑な継承に関する取組の推進 ・若年者の地元中小企業への就職や職場定着に向けた支援の推進		
--	--	---	--	--

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	地域の強みを活かした交流・関係人口の創出・拡大プロジェクト（再掲） 知床世界自然遺産や国立・国定公園、アイヌ文化などの地域の強みを活かした体験型・滞在型観光や広域観光の推進、若年層を中心とした地方移住への関心の高まりを踏まえた地域の魅力や優位性の発信、また、新しい働き方として注目されているワーケーションの推進などにより、地域内外からの人の流れをつくるとともに、地域の魅力を高め連携を図りながら、交流人口や関係人口の創出と拡大を図ることで地域の活力を生み出します。 ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 地域の強みを活かした体験型・滞在型観光や広域観光の推進 ・新たな体験型観光の発掘に向けた検討や地域資源を活かした滞在型観光地づくり ・バードウォッチングやトレッキング等の地域の特色を活かしたエコツーリズムの推進 ・自然公園の魅力発信の多言語化やネイチャーガイドの養成など国内外観光客の受入体制の充実 ・A T W S を契機とした国内外からの誘客促進 ・広域周遊観光促進事業やシーニックバイウェイと連携した広域観光周遊ルートの形成など「ひがし北海道」としての一体的な観光の推進 ・日本遺産の普及・活用を通じた広域観光の推進 ・北海道横断自動車道（道東道）の延伸を契機とした官民連携による地域の魅力発信 ・道外自治体と連携した観光情報等の発信 ・観光振興など市町村が連携して取り組む「地域づくり広域プロジェクト」の推進 ・アイヌの歴史、伝統文化等の継承・情報発信 ○ 地域一体となった移住・定住やワーケーションの推進 ・移住・定住対策に関する関係機関での情報・課題の共有と連携による受入体制づくり ・移住希望者や地域に興味がある方とのつながりの構築と関係情報の発信 ・ちょっと暮らしやワーケーションなど移住や関係人口の取組の推進 ・移住者など地域で活躍する人を結びつけるプラットフォームづくり ・若年層の地元定着に向けたふるさとの誇りと愛着を育む取組の推進	国、道、市町村、民間、関係団体	○地域の資源を活かした多彩なツーリズムを促進する施設の整備 ・農村ツーリズムなどに資する農山漁村と都市との交流を促進する施設の整備 ・フットパスやサイクリングに資する施設の整備 ○安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・空港・港湾の整備促進 ・観光拠点へのアクセス道路や休憩施設の整備 ・外国語標記の案内板などの整備 ○自然体験型観光のための施設の整備 ・野外活動体験施設の整備促進 ・海洋レクリエーション施設の整備 ○高規格道路の整備 ○冬期における安全で快適な道路交通の確保

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	安全・安心で心豊かに暮らせる地域づくりプロジェクト （人口減少が続いている現状を踏まえ、少子化に一定程度の歯止めをかけるべく、子育て環境を整えることで子育てをしやすくするとともに、子どもや高齢者・障がいのある方にも安心な防災体制の強化や医療体制の維持などを図り、安全で安心に暮らすことのできる地域を目指します。） ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 地域の医療体制の構築 ・新型コロナウイルス感染症対策の強化に資する、検査機能の充実、医療提供体制等の整備 ・関係機関との連携による医療従事者の確保 ・各圏域の保健医療福祉圏域連携推進会議での協議・検討による広域的な医療連携体制の構築 ・道東ドクターヘリの着実な運航による救急医療体制の確保 ・高規格道路の整備促進などを含めた救急搬送体制の充実 ○ 子育て支援及び高齢化対策の推進 ・妊娠・出産、子育て、子育て・自立といったライフ・ステージごとに切れ目のない支援の実施 ・地域住民等の積極的な参加による社会全体で子どもを守り育てていく環境の整備 ・医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築 ・人口減少や広域分散型社会に対応した持続可能な交通ネットワークの構築と住民の暮らしに欠かせない地域交通の安定的な確保 ・人口減少や少子高齢化に対応するための様々な分野におけるICTなどの未来技術の活用と光ファイバや5Gなどの情報通信基盤の整備促進 ○ 地域防災力の充実・強化 ・日本海溝・千島海溝沿いでの巨大地震を想定した津波避難計画、ハザードマップ等の策定又は改定への協力・支援 ・地域防災力向上のための訓練、啓発事業、ネットワークづくりの実施 ・緊急時における防災情報の伝達手段の充実に向けた取組の推進 ・地域における防災教育の充実や防災活動リーダーの育成 ・災害時要配慮者（高齢者・障がいのある方等）を支える体制整備の促進	国、道、市町村、民間、関係団体	○洪水や土砂災害、火山噴火や大規模地震、津波などに備えた安全性の高い災害防止施設の整備 ○治山ダムなどの治山施設や森林の整備 ○地方空港の機能向上に向けた施設の整備 ○安全で安心な道路交通環境の整備 ○災害に備えた安全な道路交通環境の整備 ○地域の生活環境を支える道路の整備及び保全 ○冬期における安全で快適な道路交通の確保 ○高齢者や障がいのある方々等のための社会福祉施設等の整備 ○子育て支援住宅の普及促進や保育所などの老朽施設の更新 ○子どもを安心して産み育てられる小児医療・周産期医療施設などの整備 ○小児救急医療センターや病院群輪番制病院などの整備 ○地域のための医療施設の整備

地域重点プロジェクト

[北方領土関連プロジェクト]

《地域のめざす姿》

豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

■連携地域の主な施策の方向

- 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
 - ・ 北方領土問題の啓発活動や北方四島交流などの推進
 - ・ 北方領土隣接地域の振興

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
国	地域環境整備プロジェクト（再掲） 魅力ある地域づくりを実現させるためには、安心して暮らせる住環境と必要な利便性を確保した上で、豊かな自然環境をこれからも享受できるような地域である必要があります。 北方領土返還要求運動の拠点である北方領土隣接地域では、地域活力の低下が見られることから、この地域での活力維持発展を図るため、重点的・効率的な安定振興策を推進します。 また、北海道の先住民族であるアイヌの人々の生活環境等の向上を図るため、道路網等の環境整備を促進します。 ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 北方領土隣接地域における地域整備の推進 ・ 隣接地域の振興と安定した魅力ある地域社会の形成を図るための農水産物の高付加価値化、周遊観光の構築、四島交流拠点の整備、地域医療の支援、地震・津波・洪水・高潮対策等、ハード・ソフト一体となった取組の重点化 ・ 流域治水プロジェクトの推進 ○ アイヌ文化の振興支援 ・ 地域資源であるアイヌ文化を活かした広域観光のための環境整備の促進	国、道、市町村、民間、関係団体 国、道、市町村、民間、関係団体 国、道、市町村、民間、関係団体	（国 H28完了） ・ 根室港花咲地区道路整備（国 R1完了） ・ 根室道路の整備（国 R2完了） ・ 別海西部地区の農業基盤整備（国 R4完了） ・ 標津防災の整備 （国 R6施行） ・ 釧路湿原の自然再生 ・ 釧路川（弟子屈地区）の整備 ・ 北海道横断自動車道の整備 ・ 根室防雪の整備 ・ 上春別防雪の整備 ・ 根室港の整備 ・ 落石漁港の整備 ・ 歯舞漁港の整備 ・ 羅臼漁港の整備

				・別海北部地区の農業基盤整備 ・根室地区の農業基盤整備 (道 H 2 8 完了) ・別海道路の整備 (道 H 2 9 完了) ・中標津空港の機能強化 (道 R 6 施行) ・根室中標津道路の整備 ・中標津空港の機能強化
--	--	--	--	--

推進主体	プロジェクト	主な取組	実施主体	主な基盤整備
道	北方領土の早期返還と隣接地域の振興プロジェクト （ 北方領土問題が発生してから75年以上が経過しているものの、未だに解決に至っていないことから、国の外交交渉を支える国民世論高揚のために、北方領土返還要求運動の認知度向上やより一層の裾野拡大、新たな世代への継承などの啓発活動に取り組みます。 また、根室地域では、北方領土隣接地域（根室管内1市4町）が置かれている特殊な地域事情に鑑み、元島民に対する援護や地域振興及び住民生活の安定を図るための諸施策を国、地方自治体、関係団体等と連携して推進します。 ■推進エリア 釧路・根室連携地域	○ 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備 ・北方領土問題に対する世論喚起（啓発活動） ・返還要求運動のより一層の裾野拡大及び後継者育成の推進 ・日本国民と北方四島在住ロシア国民の相互理解の推進（四島交流事業） [以下、根室地域のみ] ・元島民等に対する援護事業の推進（北方墓参や自由訪問） ・北方領土隣接地域振興等補助金などを活用した基幹産業の振興と生活環境・教育・文化・厚生施設等の整備及び啓発関連事業の推進	国、道、市町村、関係団体	○北方領土隣接地域の振興等対策の推進 ・生活環境・教育・文化・厚生施設の整備 ・周遊観光地づくりに資する施設の整備

※推進主体が「国」となっているのは北海道総合開発計画に基づき策定した「地域プロジェクト」であり、「道」となっているのは北海道総合計画の地域計画である釧路・根室連携地域政策展開方針における「地域重点政策ユニット」です。

食産業高付加価値化プロジェクト〔釧路・根室連携地域〕

国家的・広域的な課題

食料安全保障の観点から、国民に安全で安心な食の供給を確保し、国内の食料自給率向上のため、釧路・根室地方の多様な農水産物の生産力を安定、強化する必要があります。そのためには、市場のグローバル化に対応し、スマート化やイノベーションによる農林水産業の振興や担い手の確保を促進するとともに、効率的な輸送体系の構築、「食」の安全性向上やブランド化を図る必要があります。

プロジェクトの概要

今後とも進展が予想される人口減少、少子高齢化に伴う担い手不足に対応するためには、農業・水産業における生産性の向上や作業の効率化、担い手の育成・確保を図る必要があります。
また、恵まれた自然環境を背景に、地域の特長でもある安全・安心な「食」の生産をさらに推進し、自然環境と調和した持続可能な産業構造や多様な輸送モードを活用した効率的な輸送体系の構築によって、最終的には食の高付加価値化・ブランド化の推進につなげる必要があります。

主な取組

○ 効率的な食産業構造の構築

- ・農業用排水路及び農地を保全整備し、農地等の機能回復による農作業の効率化と収量の増加
- ・家畜ふん尿の効率的で適正な農地還元と排水性の改良による生産性の向上と農作業の効率化
- ・ほ場の大区画化と排水改善（乾畑化）による、生産性の向上と農作業の効率化
- ・漁港での屋根付き岸壁等の整備による就労環境の改善

○ 農水産物・食品の安全性向上やブランド化

- ・家畜ふん尿を資源として適切に農地に還元するなど、環境に配慮した資源循環型農業の実現
- ・農業用排水路の水質改善など、環境負荷物質の軽減を図る環境保全型農業の推進
- ・漁港での屋根付き岸壁や低温清浄海水取水設備の整備による衛生管理型の漁業の推進
- ・「道の駅」、「みなとオアシス」、「マリンビジョン」、「わが村は美しく北海道」運動など、地域と行政が連携した魅力ある地域づくりや農水産業の発展を核とした地域振興の推進

○ 産業を支える物流機能の充実

- ・幹線道路網の整備による物流の拠点箇所へのアクセス時間の改善
- ・輸送時間を短縮し、天候に左右されにくい安定的な陸上物流機能の充実
- ・大型船舶に対応した港湾施設を整備し、海上物流の効率化
- ・港内静穏度の確保など、効率的かつ安全な港湾利用の実現
- ・漁獲から運送・加工に至るまでの衛生管理の徹底

令和7年度（5年後）の目標

- 【道路】・北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通
【港湾】・釧路港の整備 ・根室港の整備 ・霧多布港の整備（R4年度 北防波堤改良の完成）
【漁港】・厚岸漁港の整備 ・落石漁港の整備 ・歯舞漁港の整備 ・羅臼漁港の整備 ・地域マリンビジョンによる水産物のブランド化
【農業】・根室地区の整備完了 ・別海北部地区の整備 ・阿寒地区の整備

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 基幹産業である農林水産業の持続的な成長
 - ・安全・安心かつ良質な農林水産物の安定供給に向けた体質強化
 - ・担い手の育成・確保に向けた取組の促進やICTなどの新たな技術の導入推進による生産力の向上
- 農林水産資源などを活かした地域産業の振興
 - ・豊富で良質な農林水産資源などを活かした食関連事業者の支援など食のブランド化に向けた取組の展開
 - ・農林水産物を活用した6次産業化や高付加価値化、販路拡大への支援
 - ・エゾシカ生息数の適正管理及び捕獲個体の有効利用
 - ・地域の経済・雇用を支える中小・小規模企業の振興

令和5年度末までの具体的な施策内容

【道路】・物流機能を支える道路網の整備

- 北海道横断自動車道本別～釧路（L＝約65kmのうち本別IC～阿寒IC L＝48km 2/4開通済み。
阿寒IC～釧路西IC L＝約17km 2/4整備促進）
国道38・44号釧路外環状道路 （L＝約16.8km）H31.3.9開通
国道38号釧路新道 （L＝約8.8kmのうち、L＝約4.7km 4/4、L＝約4.1km 2/4開通済み。
L＝4.1km 4/4整備促進）
釧路中標津道路上別保道路 （L＝約7.8km）H31.3.9開通
国道44号尾幌糸魚沢道路 （L＝約24.7km 2/2整備促進）
国道44号根室道路 （温根沼IC～根室IC L＝約7.1km）R2.3.22開通
国道44号根室防雪 （L＝約12.2km 2/2整備促進）
国道272号上春別防雪 （L＝約9.2 km 2/2整備促進）
国道335号標津防災 （L＝約3.8km）R4.10.31開通

【港湾】・大型船舶に対応した港湾の整備

- 釧路港国際物流ターミナル整備事業（水深14m岸壁、水深14m航路泊地）H30完了
釧路港の整備（水深14m泊地）
・効率的かつ安全な利用を実現するための港湾の整備
釧路港の整備（島防波堤、新西防波堤、西防波堤改良）
根室港の整備（水深5.5m岸壁改良、水深6m岸壁改良、北船揚場改良）
霧多布港の整備（北防波堤改良）R4完了

【漁港】・安全で安心な水産物を食卓に提供するための「衛生管理型漁港づくり」

- 衛生管理型岸壁等の整備（厚岸漁港、落石漁港、歯舞漁港、羅臼漁港）

【農業】・生産性を向上するため、排水路及び農地等の機能の低下を回復する事業

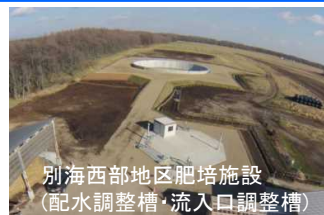
- 国営総合農地防災事業（美留和地区）R2完了
・生産性を向上と農作業の効率化により、農業経営の安定を図るための事業
国営環境保全型かんがい排水事業（別海西部地区（R2完了）、別海北部地区、根室地区）
国営緊急農地再編整備事業（阿寒地区）

食産業高付加価値化プロジェクト

- 釧路・根室管内では、全国の約18%(全道の33%)に及ぶ生乳を生産するなど、酪農が基幹産業の1つとなっており、国道や釧路港を活用して日々関東方面へ移出することによって、日本における牛乳・乳製品の安定的な供給に寄与しています。
- 釧路開発建設部は、**農業農村整備事業や道路・港湾整備などの事業を通じて、地域の生産活動を支援するとともに、産業を支える人流・物流ネットワークの整備を推進**しています。

環境保全型かんがい排水事業

家畜ふん尿の有効活用と地域環境を保全するために必要な用排水の整備を進め、食料自給率の向上と農業経営の安定、農業生産に伴う環境への影響を軽減します。



釧路港の整備

国際物流ターミナルの整備により釧路港へのファーストポート化による輸送日数の大幅な短縮が実現。背後地への配合飼料の安定供給の向上に寄与します。



釧路・根室管内含め、東北海道地域の乳牛から生産された生乳を、RORO船により輸送し(日立港など)、首都圏に安定供給(搾乳の翌々日には首都圏到着)。

国営緊急農地再編整備事業阿寒地区 (H30~)

国営総合農地防災事業美留和地区 (H25~R2)



世界水準の観光地形成プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

知床や阿寒・摩周、釧路湿原、厚岸霧多布昆布森等の雄大な自然や温泉、食、アイヌ文化、地域の歴史・文化など、豊富な観光資源を有する地域です。広域観光周遊ルートや阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト、水のカムイ観光圏等での連携や、7空港の一括運営を契機に二次交通の充実を図るとともに、国内はもとより、海外からの観光客にとって魅力のある世界水準の観光地を形成する必要があります。また、活動人口の増加に資する地域づくり人材の育成・支援の強化やワーケーション等を推進する必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

北海道の雄大な景観の中での移動そのものも楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム等の振興、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地のネットワーク化、複数空港の一体的な運営の推進等により、広域的な観光周遊ルートの形成を促進します。
また、地域と行政が連携し、地域資源を活用した地域づくり等の担い手の発掘・育成を促進します。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 世界遺産や国立・国定公園などの地域資源を活かした交流・関係人口の創出・拡大
 - ・自然、食・温泉・アイヌ文化など、地域が有する観光資源の連結・融合やシーニックバイウェイ、日本遺産などの広域的な取組を活かした着地型・滞在型の観光地づくりの推進
 - ・ATWSを契機としたアドベンチャーツーリズムの推進と外国人観光客受入体制の整備
 - ・北海道横断自動車道の延伸や新たな航空路線の就航を踏まえた広域観光の推進
 - ・冷涼、少雪好天な気候特性を活かした長期滞在やワーケーション、移住・定住の推進

主な取組

- 周遊観光を促進するための取組支援
 - ・広域に点在する観光資源の連携を支える交通網の構築
 - ・港湾・空港などのアクセス向上による観光拠点づくり
 - ・クルージングなど新たな観光ニーズへの対応
 - ・美しい自然景観や活力ある生産風景などの魅力を引き出す施設整備
 - ・「かわたび北海道」、「道の駅」、「シーニックバイウェイ」、「サイクルツーリズム」、「みなとオアシス」、「『わが村は美しく北海道』運動」など地域と行政が連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの推進
- サービス、情報提供の高質化
 - ・外国人観光客などが個人でも円滑に移動できるよう情報提供の高度化
 - ・新たな観光サービスの創出環境の整備
 - ・交通結節点など観光拠点となる施設の安全性や利便性向上

令和5年度末までの具体的な施策内容

- 【河川】・釧路湿原の自然再生
 - 久著呂地区土砂流入対策(R1完了)、幌呂地区湿原再生、ヌマオロ地区旧川復元
 - ・地域と連携した河川空間づくり
 - 釧路川河川改修(弟子屈地区 堤防天端保護(R2完了)、河道整備)
- 【道路】・広域観光を支える道路網の整備
 - 北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)
 - 国道38・44号釧路外環状道路 (L=約16.8km) H31.3.9開通
 - 国道38号釧路新道 (L=約8.8kmのうち、L=約4.7km 4/4、L=約4.1km 2/4開通済み。L=4.1km 4/4整備促進)
 - 釧路中標津道路上別保道路 (L=約7.8km) H31.3.9開通
 - 国道44号尾幌糸魚沢道路 (L=約24.7km 2/2整備促進)
 - 国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
 - 国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
 - 国道272号上春別防雪 (L=約9.2km 2/2整備促進)
 - 国道335号標津防災 (L=約3.8km) R4.10.31開通
- 【空港】・空港機能を適切に発揮させるための空港の整備
 - 釧路空港の整備(進入灯橋梁改良、滑走路端安全区域(RESA)) R4完了

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了 ・釧路湿原自然再生事業の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通
 - ・地域の魅力を道でつなぐシーニックバイウェイ活動の促進
- 【漁業】・地域マリンビジョンに基づく水産業と観光の連携
- 【空港】・釧路空港の整備(R3年度 滑走路端安全区域(RESA)の完成、R4年度 進入灯橋梁改良の完成)
- 【農業】・「わが村は美しく北海道」運動の推進 ・わが村は美しく運動による魅力ある空間づくり

世界水準の観光地形成プロジェクト

【道路】シーニックバイウェイ北海道

シーニックバイウェイは、みちをきっかけに地域住民の方々と行政とが連携し、景観をはじめとした地域資源の保全・改善の取組を進めることにより、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりを図るものであります。

平成18年度に「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」が、令和4年度には「知床ねむろ北太平洋シーニックバイウェイ」が、それぞれ指定ルートに認定され、地域と行政が連携して景観その他の地域資源の保全・改善に資する活動を行っています。



厚床フットパス
(知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ)

【農業】「わが村は美しく-北海道」運動

「わが村は美しく-北海道」運動は、北海道の魅力は地域の資源として活用し、活力のある農村漁村を築くため、地域住民自らが主体となって地域の将来像を描き展開している運動です。

第11回「わが村は美しく-北海道」運動コンクールでは、「中標津農業高等学校 マネジメント研究班」が優秀賞に、「みんなの景観なかしべつプロジェクト」が奨励賞に選ばれました。



復元された旧川と河川利用
(釧路湿原自然再生事業)



モデルツアーの実施
(かわたびほっかいどう)

【漁港】北海道マリンビジョン

地域の資源を活かしながら、多様な主体の連携・協働により活力ある水産業や漁村の実現を図るため、目指すべき姿を定めた長期的構想として、「北海道マリンビジョン」を策定しています。

「北海道マリンビジョンコンテスト2022」では、「根室地域(歯舞地区)マリンビジョン協議会」が3期連続で最優良賞を受賞しました。「北海道マリンビジョンコンテスト2023」では、「根室地域(落石地区)マリンビジョン協議会」と「根室地域(歯舞地区)マリンビジョン協議会」が優良賞を受賞しました。



渚泊、ブランド化の取組
についての講演の様子



施設見学の受入

【空港】釧路空港の整備

航空機の安全かつ安定した運航を維持するため、滑走路・誘導路などの老朽化対策を計画的に進め、令和4年度に完了しました。

【河川】釧路湿原自然再生事業・かわたびほっかいどう

恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域社会の形成に資するため、釧路湿原の自然環境保全・復元を目的とした自然再生事業に取り組むとともに、地域と連携し、観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進しています。

自然共生社会形成プロジェクト

〔釧路・根室連携地域〕

国家的・広域的な課題

北海道は、美しく雄大な自然環境を有するとともに、再生可能エネルギー源が豊富に賦存しており、豊かな自然環境の保全、再生及び活用を図るとともに、我が国における2050年カーボンニュートラル（ゼロカーボン北海道）、脱炭素社会の実現に向けて、取組を推進します。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

多自然川づくり、良好な都市環境を提供する公園緑地の整備を始め、社会資本整備や土地利用において、生物の生息・生育の場の提供、良好な景観形成など、自然環境が有する多様な機能を積極的に活用するグリーンインフラの取組を推進します。

また、管内には再生可能エネルギー源が豊富に賦存しており、今後はこうした地域に根ざしたエネルギー開発や関連する産業の育成を推進します。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 豊かな自然環境を次世代に残す環境負荷を最小限に抑えた持続可能な社会の構築
 - ・知床世界自然遺産や国立・国定公園など特色ある豊かな自然環境の保全と利用の促進
 - ・地域の特性を活かしたバイオマス、太陽光、地熱など再生可能エネルギーの導入促進とエネルギーの地産地消の推進
 - ・国内唯一の坑内掘炭鉱の保安の確保とCO₂坑内埋め戻し技術の確立、その活用による産炭国への炭鉱技術の移転
 - ・森林資源の循環利用及び木育の推進

主な取組

- 豊かな自然を享受できる地域づくり
 - ・湿原環境、河川環境の回復
 - ・水生生物の生息環境の保全と創造
 - ・野生動物に配慮した道路の整備
 - ・資源循環や環境保全に配慮した農業の推進
 - ・再生可能エネルギーの開発・普及・利活用の支援

令和5年度末までの具体的な施策内容

【河川】・釧路湿原の自然再生

久著呂地区土砂流入対策（R1完了）、幌呂地区湿原再生、ヌマオロ地区旧川復元

・地域と連携した河川空間づくり

釧路川河川改修（弟子屈地区 堤防天端保護（R2完了）、河道整備）

【道路】・野生動物に配慮した道路の整備

北海道横断自動車道本別～釧路（L＝約65kmのうち本別IC～阿寒IC L＝48km 2/4開通済み。
阿寒IC～釧路西IC L＝約17km 2/4整備促進）

国道38・44号釧路外環状道路 （L＝約16.8km）H31.3.9開通

国道38号釧路新道 （L＝約8.8kmのうち、L＝約4.7km 4/4、L＝約4.1km 2/4開通済み。
L＝4.1km 4/4整備促進）

国道44号尾幌系魚沢道路 （L＝約24.7km 2/2整備促進）

国道44号根室道路 （温根沼IC～根室IC L＝約7.1km）R2.3.22開通

国道44号根室防雪 （L＝約12.2km 2/2整備促進）

国道335号標津防災 （L＝約3.8km）R4.10.31開通

【港湾】・水性生物の生息環境の保全と創造に配慮した港湾の整備

釧路港の整備（浚渫土砂を活用した環境共生型防波堤）

【農業】・環境に配慮した農業農村整備事業

国営環境保全型かんがい排水事業（別海西部地区（R2完了）、別海北部地区、根室地区）

令和7年度（5年後）の目標

【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了 ・釧路湿原自然再生事業の継続

【道路】・北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通

【港湾】・釧路港の整備

【農業】・根室地区の整備完了 ・別海北部地区の整備

自然共生社会形成プロジェクト

(豊かな自然を享受できる地域づくり)

【目 的】 農業の生産性及び産地収益力の向上による農業経営の安定化を図るため、
資源循環を基本とした環境保全型農業を実践することを目的としている。

■現状と課題

- ① 離農などに伴い、経営規模の拡大、飼養頭数の拡大
- ② 用水施設の老朽化及び施設容量の不足
- ③ 労働力不足
- ④ 牧草の収量が低下
- ⑤ 糞尿の適正な圃場への還元が困難
- ⑥ 糞尿や肥料成分等の負荷物質の河川への流出による水質環境の悪化

家畜ふん尿の圃場内堆積



老朽化による漏水



老朽化した配水調整槽



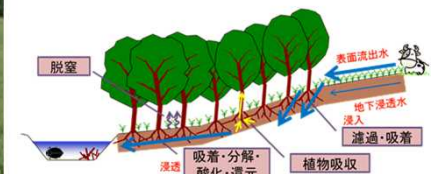
対策イメージ



《整備イメージ》



事業の効用 ・牧草収量の増加 ・周辺環境の改善
・作業性の改善 ・経営環境の改善



広域交通ネットワーク形成プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

広域分散型社会を形成している地域であり、都市部と地域を結ぶ高規格道路や国際バーク戦略港湾を始めとする基幹的ネットワークの整備を進め、基盤整備を含めた物流の強化を図る必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備を推進します。

また、国際バーク戦略港湾を始め、海上輸送網の拠点となる港湾の機能強化やRORO船等に対応した複合一貫輸送機能の維持・強化を推進します。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- **暮らしや産業を支える交通・情報ネットワークの形成**
 - ・鉄道やバス、高規格道路や国際物流ターミナルなど、地域の生活と産業を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実、高度情報通信網の整備

主な取組

- **交通・物流ネットワークの強化**
 - ・高規格道路を始めとする基幹的ネットワークの整備
 - ・内外との人流・物流基盤である港湾・空港機能の強化
- **利便性を確保するためのアクセス機能の向上**
 - ・釧路都市圏における交通渋滞の解消
 - ・危険性が高い区間の交通事故の減少
 - ・地域間連携による医療・福祉機能の確保を支える速達性・確実性の高い道路交通の確保

令和5年度末までの具体的な施策内容

【道路】・地域の生活を支える道路網の整備

北海道横断自動車道本別～釧路（L＝約65kmのうち本別IC～阿寒IC L＝48km 2/4開通済み。

阿寒IC～釧路西IC L＝約17km 2/4整備促進）

国道38・44号釧路外環状道路（L＝約16.8km）H31.3.9開通

国道38号釧路新道（L＝約8.8kmのうち、L＝約4.7km 4/4、L＝約4.1km 2/4開通済み。
L＝4.1km 4/4整備促進）

釧路中標津道路上別保道路（L＝約7.8km）H31.3.9開通

国道44号尾幌糸魚沢道路（L＝約24.7km 2/2整備促進）

国道44号根室道路（温根沼IC～根室IC L＝約7.1km）R2.3.22開通

【港湾】・内外との物流基盤の整備

釧路港国際物流ターミナル整備事業（西港地区：水深14m岸壁、水深14m航路泊地）H30完了

釧路港の整備（島防波堤、新西防波堤、水深14m泊地の整備）

【空港】・内外との人流基盤の整備

釧路空港（進入灯橋梁改良、滑走路端安全区域（RESA）R4完了

令和7年度（5年後）の目標

- 【道路】・北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）のR6年度開通 ・釧路新道のR6年度4/4開通
- 【港湾】・釧路港の整備
- 【空港】・釧路空港の整備（R3年度 滑走路端安全区域（RESA）の完成、R4年度 進入灯橋梁改良の完成）

広域交通ネットワーク形成プロジェクト (利便性を確保するためのアクセス機能の向上)

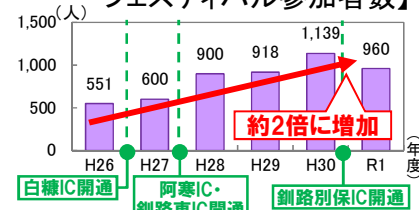
- 平成28年3月の北海道横断自動車道（白糠IC～阿寒IC）と釧路外環状道路（釧路西IC～釧路東IC）、令和2年3月の根室道路の開通により、釧路・根室地域へのアクセス性が向上。
- 阿寒ICまでの部分開通による観光地への速達性の向上により、周辺観光施設及び釧根地域全体の観光入込客数は増加傾向にあるが、根室管内の観光入込客数は横ばいで推移している。
- 北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）の整備により、道内外からの所要時間が短縮され、釧根地域の更なる観光活性化が期待される。

【釧根地域への観光入込客数の推移】



出典：北海道観光
入込客数調査報告書

【ねむろバードランド
フェスティバル参加者数】



出典：根室市観光協会

【根室半島チャシ跡群来訪者数】



出典：根室市観光協会 ※R2、R3は新型コロナ禍によりイベント中止のため未掲載

【北海道横断自動車道周辺の主要観光地】



■地域の声(R2.10 阿寒行政センター職員)

・阿寒IC～釧路西IC・尾幌糸魚沢道路が整備されることで、道央圏からの観光客だけでなく、釧路根室圏からのアクセスが向上し、観光需要が増加すると考えられる為、早期延伸を期待しています。

写真: 阿寒行政センター、
釧路市役所HP、
根室観光協会HP、
根室市役所HP、
釧路開発建設部

災害に強い地域づくりプロジェクト

〔釧路・根室連携地域〕

国家的・広域的な課題

切迫する日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・津波、洪水、高潮等の災害から国民の生命や財産を守り、冬期複合災害への備えを進めるとともに、流域治水への転換、国土強靱化のハード・ソフト対策、インフラ老朽化対策としての予防保全への本格転換等にも取り組む必要があります。また、医療、子育て支援に向けた安全・安心なまちづくりを構築する必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

平成28年8月に台風が相次いで北海道に上陸・接近し、道内各地の河川、道路、農業用施設等に甚大な被害がもたらされました。今後も気候変動により、災害が更に頻発、激甚化することが懸念されており、多様な主体との連携によりハード対策とソフト対策を効果的に組み合わせ、効率的な防災・減災対策を進めます。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

○ 災害に強く安心して暮らせる心豊かなまちづくりの推進

- ・地震や津波、火山、大雨などに対する防災体制及び施設の充実・強化
- ・森林保全や山地災害防止等のための地域環境に配慮した治山事業の推進
- ・地域医療と保健・福祉の充実、妊娠・出産、子育てなど各ライフ・ステージにおける支援の推進
- ・若者、女性、高齢者・障がい者など誰もが暮らしやすい地域づくりの推進

主な取組

○ いのち・地域をつなぐ基盤整備

- ・広域連携を可能とする緊急輸送ルートの確保
- ・各交通手段における代替機能確保による多重化
- ・インフラの老朽化対策

○ 頻発する自然災害に備える防災対策の推進

- ・冬期視程障害による交通障害の防止
- ・災害時におけるライフラインや住民避難場所の確保
- ・防災関係機関との連携強化
- ・地震・津波・洪水・高潮時における被害低減及び避難経路の確保
- ・流域治水プロジェクトの推進
- ・道の駅の防災機能強化の推進
- ・空港機能確保のための空港施設の適切な更新改良
- ・災害時における農水産物流通機能の確保

○ 総合的な防災・減災対策の推進

- ・防災意識を高める啓発活動、防災訓練の実施
- ・現地情報連絡員（リエゾン）、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、水土里（みどり）災害派遣隊等の派遣、災害対策用資機材の貸与等、きめ細やかな地域支援の実施

令和5年度末までの具体的な施策内容

【河川】・釧路川の治水安全度の向上、減災対策

釧路川河川改修（弟子屈地区 堤防天端保護（R2完了）、河道整備）
釧路川河川改修（標茶地区 堤防天端保護（R2完了）、堤防整備）

【道路】・災害に強い道路網の整備

北海道横断自動車道本別～釧路（L＝約65kmのうち本別IC～阿寒IC L＝48km 2/4開通済み。
阿寒IC～釧路西IC L＝約17km 2/4整備促進）
国道44号尾幌系魚沢道路（L＝約24.7km 2/2整備促進）
国道44号根室道路（温根沼IC～根室IC L＝約7.1km）R2.3.22開通
国道44号根室防雪（L＝約12.2km 2/2整備促進）
国道44号雪裡橋架替（L＝0.2km 4/4整備促進）
国道272号上春別防雪（L＝約9.2 km 2/2整備促進）
国道335号標津防災（L＝約3.8km）R4.10.31開通
国道44号釧路末広町電線共同溝（L＝1.6km 整備促進）R5完了
国道38号釧路橋北地区電線共同溝（L＝3.4km 整備促進）
国道44号釧路入江電線共同溝（L＝1.4km 整備促進）

【港湾】・効率的かつ安全な利用を実現するための港湾の整備

釧路港の整備（島防波堤、新西防波堤、水深14m泊地の整備）
霧多布港の整備（北防波堤改良）R4完了

【空港】・空港施設の整備

釧路空港（進入灯橋梁改良）R4完了

【漁港】・災害に強い漁港の整備

厚岸漁港、落石漁港、歯舞漁港、羅臼漁港

令和7年度（5年後）の目標

【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了、標茶地区の継続

【道路】・北海道横断自動車道（阿寒IC～釧路西IC）のR6年度開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通 ・末広町電線共同溝【R5完了】

【港湾】・釧路港の整備、霧多布港の整備（R4年度北防波堤改良の完成）

【空港】・釧路空港の整備（R4年度進入灯橋梁改良の完成）

【漁港】・厚岸漁港の整備 ・落石漁港の整備 ・歯舞漁港の整備 ・羅臼漁港の整備

【防災】・各種防災会議、防災訓練の実施 ・津波防災地域づくり法支援

【共通】・施設の有効活用による避難対策 ・広域防災体制の整備

災害に強い地域づくりプロジェクト

- 切迫する日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・津波、洪水や高潮、暴風雪、火山噴火等に対する総合的な防災・減災体制の強化に向けた取組が課題となっています。
- 道路事業、河川事業、港湾事業、漁港事業など各方面による対策により、災害に強い地域づくりを進めています。

総合的な防災・減災対策の推進

緊急対策派遣隊(TEC-FORCE)の派遣

大規模な自然災害等に際し、被災自治体が行う被災状況の把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施します。



リエゾン(現地情報連絡員)



被災状況調査班

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震津波避難対策推進会議の設置
津波避難対策特別強化地域に指定された市町村の津波避難対策緊急事業計画の作成が円滑に進むよう、津波避難対策における課題や得られた知見の情報共有を行う「推進会議」を設置しました。



釧路・根室地方推進会議
第1回：令和4年11月9日
第2回：令和5年6月12日

作成状況(令和5年4月1日現在)

【港湾事業】【漁港事業】災害に強い港湾・漁港機能

【外郭施設の整備(防潮堤、防波堤)】

【霧多布港、釧路港】

霧多布港では、背後市街地の津波浸水被害を防ぐため、L1津波に対応した防潮堤の嵩上げ改良が実施されました。
また、釧路港の航路・泊地の安全性向上のために整備している新西防波堤は、津波被害の軽減に寄与します。



霧多布港 防潮堤改良



新西防波堤による津波被害の軽減
釧路港の航路・泊地の安全性向上

【耐震性能を強化した岸壁の整備】

【厚岸漁港】

耐震性能を強化した岸壁整備により、地震災害時における緊急物資輸送及び水産物流通機能を確保します。



厚岸漁港

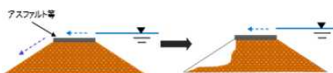
【河川事業】水防災意識社会再構築ビジョンに基づくハード・ソフト対策

堤防天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が剥がれている。



氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」の実施



堤防天端舗装の様子
■堤防の天端舗装を実施



釧路川減災対策協議会の様子
(R5年3月16日
第9回協議会(ハイブリット))



簡易型河川監視カメラと危機管理型水位計設置の様子



河川防災教育の取組の様子
(標茶小学校・標茶高校)



【道路事業】災害に強い道路機能

【一般国道44号尾幌系魚沢道路】

- ・湿地帯・低地部に起因する冠水、吹雪による視程障害などの課題を解決。
- ・津波浸水被害などの災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築。



【厚岸町の津波浸水予測範囲】
出典：厚岸町津波ハザードマップ

【「道の駅」の防災拠点化】

「道の駅」を防災拠点として位置づけ、道路利用者や地域住民に災害時に必要な機能を提供できるよう施設・体制を強化



防災資材庫及びマンホールトイレの整備

【一般国道38号(釧路新道)、一般国道38・44号(釧路外環状道路)】

道路整備により、災害時の緊急輸送ルートが強化されるほか、津波発生時の緊急避難道路としての活用が期待されます。

○釧路新道

避難階段の設置により津波発生時の緊急避難道路として活用。

【横断面】

津波を回避

避難階段(設置済)



○釧路外環状道路

国道44号釧路東IC付近の津波浸水回避が可能となり、災害時における迅速な避難及び救援活動が可能。

(A-A' 断面)

【釧路外環状道路】

【津波浸水を回避】

【国道44号】

津波浸水



釧路町 緊急広場整備

釧路町の要望に応え、減災に向け国所有地を有効活用

地域環境整備プロジェクト [釧路・根室連携地域]

国家的・広域的な課題

北方領土問題の解決は、領土という国の主権に関わる戦後我が国に残された重要課題であり、北方領土問題を巡る外交交渉を後押しする啓発活動の展開や北方四島在住ロシア人との交流など問題解決のための環境整備に努める必要があります。

また、北方領土隣接地域（根室管内1市4町）が置かれている特殊な地域事情に鑑み、安定した地域社会を形成する必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

■豊かな自然を活かした産業の振興と多様な交流・連携に取り組み、人々が安心して暮らせる、活気にあふれた「釧路・根室連携地域」

プロジェクトの概要

魅力ある地域づくりを実現させるためには、安心して暮らせる住環境と必要な利便性を確保した上で、豊かな自然環境をこれからも享受できるような地域である必要があります。

北方領土返還要求運動の拠点である北方領土隣接地域では、地域活力の低下が見られることから、この地域での活力維持発展を図るため、重点的・効率的な安定振興策を推進します。

また、北海道の先住民族であるアイヌの人々の生活環境等の向上を図るため、道路網等の環境整備を促進します。

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 北方領土問題の解決に向けた世論啓発・環境整備
 - ・北方領土問題の啓発活動や北方四島交流などの推進
 - ・北方領土隣接地域の振興

主な取組

- 北方領土隣接地域における地域整備の推進
 - ・隣接地域の振興と安定した魅力ある地域社会の形成を図るための農水産物の高付加価値化、周遊観光の構築、四島交流拠点の整備、地域医療の支援、地震・津波・洪水・高潮対策等、ハード・ソフト一体となった取組の重点化
 - ・流域治水プロジェクトの推進
- アイヌ文化の振興支援
 - ・地域資源であるアイヌ文化を活かした広域観光のための環境整備の促進

令和5年度末までの具体的な施策内容

- 【河川】・釧路湿原の自然再生
 - 久著呂地区土砂流入対策(R1完了)、幌呂地区湿原再生、ヌマオロ地区旧川復元
- ・地域と連携した河川空間づくり
 - 釧路川河川改修(弟子屈地区 堤防天端保護(R2完了)、河道整備)
- 【道路】・地域環境を踏まえた道路網の整備
 - 北海道横断自動車道本別～釧路(L=約65kmのうち本別IC～阿寒IC L=48km 2/4開通済み。阿寒IC～釧路西IC L=約17km 2/4整備促進)
 - 国道44号根室道路 (温根沼IC～根室IC L=約7.1km) R2.3.22開通
 - 国道44号根室防雪 (L=約12.2km 2/2整備促進)
 - 国道272号上春別防雪 (L=約9.2 km 2/2整備促進)
 - 国道335号標津防災 (L=約3.8km) R4.10.31開通
- 【港湾】・根室港における港湾機能の充実
 - 根室港の整備(水深5.5m岸壁改良、水深6m岸壁改良、北船揚場改良)
- 【漁港】・水産物の高付加価値化に資するための「衛生管理型漁港づくり」
 - 衛生管理型岸壁等の整備(落石漁港、歯舞漁港、羅臼漁港)
- 【農業】・生産性の向上と農作業の効率化により、農業経営の安定を図るための事業
 - 国営環境保全型かんがい排水事業(別海西部地区(R2完了)、別海北部地区、根室地区)

令和7年度（5年後）の目標

- 【河川】・釧路川河川改修事業の弟子屈地区完了 ・釧路湿原自然再生事業の継続
- 【道路】・北海道横断自動車道(阿寒IC～釧路西IC)のR6年度開通 ・根室防雪のR7年度開通 ・標津防災のR4年度開通
- 【港湾】・根室港の整備
- 【漁港】・落石漁港の整備 ・歯舞漁港の整備 ・羅臼漁港の整備
- 【農業】・根室地区の整備完了 ・別海北部地区の整備

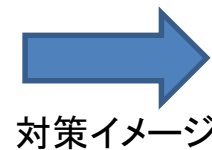
地域環境整備プロジェクト

【整備目的】

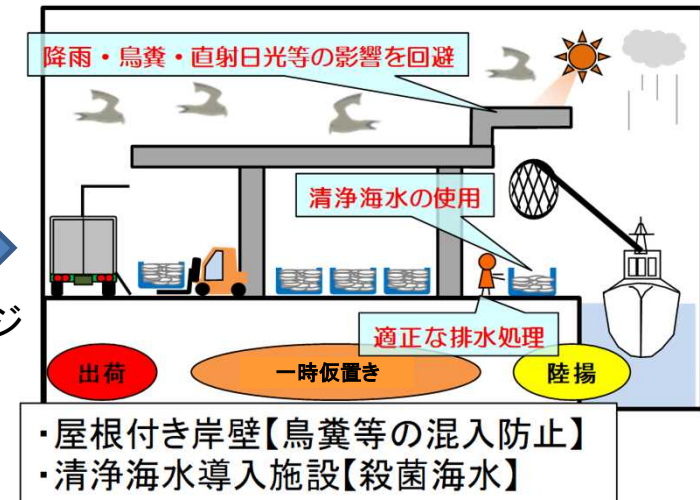
安全・安心な水産物の安定供給を図るため、漁港における総合的衛生管理対策を推進
(落石漁港、歯舞漁港、羅臼漁港)

■現状と課題

- ①鳥類が蟄集する中での陸揚作業により糞や埃の混入
- ②野天での陸揚げから直射日光や降雨による鮮度低下



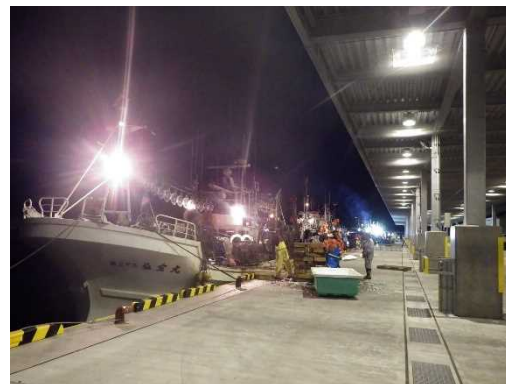
対策イメージ



これまでの衛生管理対策の実現



羅臼漁港 人工地盤



落石漁港 屋根付き岸壁



歯舞漁港 屋根付き岸壁・人工地盤